

様式第1号 (第4条関係)

令和3年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書

令和3年 5月 6日

(あて先)

さいたま市長

所在地

団体名 ママカフェ*めぐみか

代表者氏名 川合めぐみ

注 署名によらない場合は押印してください

下記により、令和3年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金(一般助成事業・~~団体希望助成事業~~)の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金交付申請額 金 152,090 円
- 2 事業計画書
- 3 事業収支予算書
- 4 団体概要
- 5 添付書類



事業計画書

団体名	ママカフェ＊めぐみか
-----	------------

＊事業の概要	
事業の名称	*この事業は、何という名前ですか？ 子育て応援サロン「ママカフェ＊めぐみか」
事業の分野 とその概要	*この事業の分野は、どのような分野ですか？ <input type="checkbox"/> (四角) に <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) を入れてください。 また、この事業を文章で短く言い表すと、どのようになりますか？ (100字程度)
	事業の分野 <input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉 <input type="checkbox"/> 社会教育 <input type="checkbox"/> まちづくり <input type="checkbox"/> 観光 <input type="checkbox"/> 農村漁村 <input type="checkbox"/> 学術・文化・芸術・スポーツ <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 災害救 <input type="checkbox"/> 地域安 <input type="checkbox"/> 人権・平和 <input type="checkbox"/> 国際協 <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども <input type="checkbox"/> 情報化社会 <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 経済活動 <input type="checkbox"/> 職業・雇用 <input type="checkbox"/> 消費者保護 <input type="checkbox"/> その他 ()
協働を希望する担当	*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？ 浦和区役所 支援課
マッチングファンドの申請回数 (前回の結果)	*これまでにマッチングファンドの助成を受けたことがありますか。回数をお答えください。 また、ある場合は、前回の助成事業の振り返り(効果・成果)を記入してください。 0 回目 (前回助成を受けた年度: 年度)
対象者	*この事業は、誰を主な対象に実施しますか？ 子育て中のママ世代 (&その子ども)
実施期間	*この事業は、いつからいつまでに実施しますか？ 令和 3 年 6 月、 ~ 令和 4 年 3 月
総事業費	*この事業は、いくら資金が必要ですか？ (そのうち助成金はいくらですか？) 162,090、 円 (助成金交付申請額 152,090、 円)
事業のテーマ	*市が募集するテーマに限り、この事業のテーマを記入します。 子育て応援サロンの開催

団体名	ママカフェ*めぐみか
-----	------------

1	現状における課題と事業の目的
*この事業は、何を課題としてとらえましたか？（課題：地域や市民等にある解決が必要な事柄）	
さいたま市の特色として、結婚や出産による引っ越し、子連れでの引っ越しで市外からの転入が多いように思う。生まれ育った地元でもなく、近くに頼る身内もない育児を「アウェイ育児」などという言葉が誕生しているが、市内にはそうした方々が大勢いるのではと考える。その孤立してしまいがちなママにスポットを当て、1人頑張るママにホッとできる場所を提供しつつ、必要な人には必要な社会資源をつなげていきたいと思っている。	
*この課題に対し、行政（国、県、市）が実施している施策をどう考えましたか？	
子育て支援として今働くママへの施策は多いように感じるが、働きたくても働けない、心の問題がある、パートナーの仕事が忙しく協力が得られない、また子どもの性格、気質などにより人に預けることも親子共々難しい。そんな専業主婦で24時間子どもと一緒にいる、1人で毎日家の中で必死に戦うママへの支援の必要性を感じている。	
*この事業を、公共的な事業として実現する意義は何ですか？	
個々のニーズに細かく対応するには、広く周知されないとなかなか人は集まらない。また子育てがブルーなママなどは公共の場には出てこない事が多い。市との協働で行うことで広域で参加者に呼びかけ、参加者に安心感を与え参加をしやすくすることが一番の目的である。	
*この事業は、何を目的に設定しましたか？ （目的：課題に対応して何をを目指すのか。課題が解決したときの、地域や市民等が得られる理想の姿。）	
子育てママが、一カ所でもホッとできる場所、空間、人がいれば、たとえワンオペ育児であっても、また頑張る原動力になると考える。「ママ」という共通点をもつ人がつながることで、「一人ではない」と実感してもらいたい。	

2	事業の具体的な内容
*この事業は、どんな手段で課題を解決しますか？（いつ、どこで、だれが・だれに、なにを、どうするの視点で）	
※目的を達成するための事業が複数ある場合には、事業②の欄を追加（挿入）してください。	
事業①の事業名	子育て応援サロン「ママカフェ*めぐみか」
いつ（ころ）	浦和区が開催できない月に、月1回（6月、9月、10月、12月、1月、2月、3月）
どこで	浦和コミュニティセンター
だれが（主体） だれに（対象）	（主体） ママカフェ*めぐみか・浦和区支援課 （対象） 浦和区の初出産の母子と転入してきた母子対象
なにを	・浦和区で子育て中の母子が憩える交流の場を提供し、浦和区が望む形での浦和区の子育て支援の社会資源情報を提供する。 ・情報提供に加えて、メインイベントを毎回一つ用意し、体を動かす遊びやダンス、リトミック、ママヨガ、手遊び、絵本・紙芝居の読み聞かせ、を取り入れる。（新聞びりびり、絵の具あそび、小麦ねんどなど）
どうする	・ママが困ったときに連絡する場所を知っていることで、子育て中のママが孤立しないような取り組みをする。 ・親子で遊ぶことの楽しさを味わい、子どもの笑顔に触れることで、子育ての楽しみを共に実感してもらう。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	ママカフェ * めぐみか
-----	--------------

3	事業により期待できる成果・効果
<p>*この事業が、直接的に達成できることは何ですか？また、その達成できたことによって、地域や市民にどんな良い影響がありますか？ (団体、市、参加者など事業に携わるすべての人に波及する成果、効果を書いてください。)</p> <p>① 子育ては楽しいことばかりではなく、大変なことが多いのが現状。その中で子育てママさんたちが参加し共に過ごした時間をほんの瞬間でも「子育ては楽しい！」と思ってもらえることで、普段感じる子育てのストレスを軽減し、この先の長い子育てをがんばっていけるという効果が得られるのではないかと思います。(子どもがみせるキラキラの笑顔とか、発する言葉とか、ふいにもらえる宝物みたいな物があるから、親は親として生きていけるのではないかと)</p> <p>② 市は子育てに関する幅広い要望全てに合ったサロンを開催することが難しい。そこで細かいニーズの一部でも応えることができるサロンの開催を当団体が担うことでより多くのターゲット層(初めての子育て層)を孤立した状態から防ぐことができるのではないかと思います。</p> <p>③ 「子どもと青少年ののびのび希望プラン」での調査でも浮き彫りになっていた、子育て支援センター、のびのびルームの利用したことがある22.1%なのに対し利用したことがない73.2%、利用したいと思ったり日数を増やしたりしたいと思わない61.4%という現実、各テーマなどがある子育て支援サロン事業を行いながらの情報提供を行うことで、ママたちが利用してみたいと思ってもらえるきっかけになるのではないかと思います。</p>	

4	この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性
<p>*この課題に関連して、団体が今までに取り組んできたことはどんなことですか？</p> <p>子育てママのためのイベントなどを様々に行ってきました。ママヨガ、託児付きヨガ、未就園児教室、パン教室、のびのび広場、アロマクラフト、おはぎづくり、カクテキづくり、ベリーダンス、リトミック教室、親子パン教室、幼児のかきかた教室、レジンクラフトづくり、クリスマス会(親子ヨガ、親子リトミック含む)など</p> <p>これらは、こういう媒体を通して、ママたちが気軽に参加することが目的でした。</p> <p>その中で愚痴や悩みを自然に話せるよう促したり、必要としている情報をさりげなくお伝えしたりすることで、ママたちが精神的に病むことを事前に防ぎ、相談機関に行く手前の支援に取り組んできました。</p>	

<p>*この課題に関連して、団体がもつ強みや生かせるノウハウはどんなことですか？</p> <p>専門職という国家資格(保育士、幼児教諭第二種、精神保健福祉士、社会福祉士、介護支援専門員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それ以外に複数の子どもを今まさに育てているところだと思えます。幼稚園児から思春期の小学校高学年までいるので、未就園児の子をもつママにとってはほんの少し先輩でもあり、話も聞きやすいのではないかと思います。 ・上目線のアドバイスなどではなく、ともに悩み一緒に共感することで子育てママの心にも響いてくれるのではないかと思います。 ・7年間の活動を通して、地域の生きた情報を積極的に取り入れることを生活の中で行うようになりました。生活者としての視点を持ちつつ、専門職としての視点で必要な方には必要な支援について話し合い、秘密保持の原則のもと活動を行うことをしています。 ・ママさん対象のグループにおけるファシリテーターをこなすことができます。グループワークの運営と、メンタルヘルスにおける個別相談を請け負うこともできます。 ・親子対象の親子遊びの運営をすることができます。 ・ヨガ講師、リトミック講師とのつながりがあり、サロン開催時に講師として呼び出すことが可能です。 	
--	--

*この課題に取り組む団体の思い(熱意・姿勢)はどんなことがありますか？

子育ての経験をしてきた中で、一人目の子育てをしている時に、一人ぼっちの育児と感じずに過ごせたのは、たまたま周りに同じ年の子を持つママさんが多くいて、のびのびルームという集まる場所があったことが大きいと思っていました。

二人目が生まれたときに、上の子(第1子)がのびのびルームの使用年齢に引っかかったことや、狭い空間で遊べなくなったことなどから、自分たちで親子一緒に楽しめる空間作りをして、地域の子育てママたちに貢献できないかと感じていました。

そのあとから、自分たちの自宅を開放したり、公民館を利用したりと、様々な媒体を通してのママ同士の交流を重ねてきました。

子育ては一見楽しそうで幸せなことだけに見えがちですが、大変なことも多く、きれいごとだけではできず、感情的に怒ったりもしてはいけなく、子どものやりたいことを優先し子どもが自ら考えられるような環境を用意する、栄養バランスを考えて食事を用意するなど、思っている以上に見えない負担の大きいものです。

さらには、その環境以外にもパパは仕事で家にいる時間が少なく、ママは収入のえられる仕事をしていないので自分のために使える十分なお金も時間もなく、自分のことは後回しになる、その繰り返しの毎日を送っているのです。

でもそんな中にも、ほんの一瞬みせる子どもの確かな成長や、心からの笑顔、ママとの深い絆を感じる瞬間が必ずあります。それを見逃しているママは、周りの手助けが得られずいたり、ともに語り合えるママさんがいなかったりすることが大きいように思います。

私たちがそのお手伝いをする中で、一緒に子育てを楽しんで、悩んで、そして喜んで、「ほら今こんなことが出来るようになったよ!」「これはこういうふうな発達の段階だから心配いらぬよ」「大変だよ」「寝ないよ」「うちもずっと抱っこでその時期は下に置くなって無理だったよ」など、そんな一緒の目線での言葉や経験者の話に救われるママもいるのではないかとこの考えから、親子一緒に企画を取り入れようと思っています。

その中で、同じ空間の見えるところで託児をすることにより、ママたちの自分のために預けてしまったという罪悪感はなく、さらに色々な子どもをみる機会にもつながり、そこから遊びやお話を通して、子どもとのかわり方を自然な形で学んでいくことが、私たち「ママカフェ*めぐみか」が提供できる醍醐味と思います。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	ママカフェ*めぐみか
-----	------------

5 市との協働に期待すること

*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？（再掲）
浦和区役所 支援課

*この事業における、市との協働の意義、協働の内容はどんなことですか？
 ・開催場所の確保「浦和コミュニティセンター」の優先予約
 ・市報への掲載 → 広域へのサロン開催情報の提供
 ・交流サロンに参加したママさんやお子さんに支援必要な状態の疑いが生じた際に、その母子の情報提供を浦和区支援課に行うので、その後の対応
 ・利用率の下がっている市の施設情報を提供することで、利用回数を増やすことをお手伝いできるのではないかと思います。利用者が増えることで、その場所が地域にとっての憩いとなり、事業終了後も地域にとってほっとできるスペースに育て上げることもお手伝いできるかと思います。

*この事業に関して、市と協働するにあたって、どんなことを協力、支援、実現してほしいですか？「 」に具体的に書いてください。

■市が持つ人的な（ノウハウ等）資源による協力・支援	■市が持つ施設などの資源による協力・支援
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 公共施設の優先予約
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■市が持つ発信力・情報(提供)の資源による協力・支援	■その他
<input checked="" type="checkbox"/> 市報への掲載	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ホームページへの掲載	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ツイッターへの掲載	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

6 助成終了後の事業展開

*この事業は、マッチングファンド助成終了後（※）にどんな事業展開を考えていますか？
 ※特に翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。

今年度の開催が成功すれば、引き続きもう1年協働事業として開催したいと考えます。
 サロン参加者から参加費を徴収して助成金に頼らない形で継続して実施できる方法を検討します。
 この事業をきっかけに運営側として参加できるママさんを増やして、助成金に頼らない形で継続する方法を検討します。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	ママカフェ*めぐみか
-----	------------

7	事業の詳細な計画	
事業①	子育て応援サロン「ママカフェ*めぐみか」	
* 事業の計画はどのように考えていますか？ 準備、活動、振り返り等について、体制、実施する時期、どこで、だれが、(参加者の属性や人数などを含む) 等具体的に何を行うか記入してください。 ※目的を達成するための事業が複数ある場合は、事業②の欄を追加(挿入)してください。		
実施時期	実施内容	
年間通して	事業の準備・開催報告などについて ・全てにおいて前月に準備を行い、当日会場にて実施 ・広報による告知(浦和区支援課)に加え、当団体のブログ、インスタグラム、公式LINE等で告知と開催報告を行う。写真については参加者の方の許可のもと行う。 ・実施毎に参加者の方に無記名のアンケートを実施し、活動の振り返りに生かす。	
5月19日 水曜日	6月分イベント打ち合わせ (当団体スタッフ3名)	
6月1週目 水曜日	メイン活動 親子の新聞遊び(当団体スタッフ3名、ボランティア3名、参加募集者10組母子) 親子の交流タイム(ママさん同士のお話しタイム&浦和区の情報提供) 終了後反省会、当団体のブログ、インスタグラム、公式LINE等で開催報告と次回告知	
8月25日 水曜日	9月分イベント打ち合わせ (当団体スタッフ3名)	
9月8日 水曜日	メイン活動 親子のリトミック(外部講師、当団体スタッフ3名、講師1名、ボランティア3名、参加募集者10組母子) 親子の交流タイム(ママさん同士のお話しタイム&浦和区の情報提供) 終了後反省会、当団体のブログ、インスタグラム、公式LINE等で開催報告と次回告知	
9月22日 水曜日	10月分イベント打ち合わせ (当団体スタッフ3名)	
10月6日 水曜日	メイン活動 親子で運動遊び(当団体スタッフ3名、ボランティア3名、参加募集者10組母子) 親子の交流タイム(ママさん同士のお話しタイム&浦和区の情報提供) 終了後反省会、当団体のブログ、インスタグラム、公式LINE等で開催報告と次回告知	
11月30日 火曜日	12月分イベント打ち合わせ (当団体スタッフ3名)	

12月1日 水曜日	メイン活動 手形アートでクリスマス(当団体スタッフ3名、ボランティア3名、参加募集者10組母子) 親子の交流タイム (ママさん同士のお話しタイム&浦和区の情報提供) 終了後反省会、当団体のブログ、インスタグラム、公式LINE等で開催報告と次回告知
12月22日 水曜日	1月分イベント打ち合わせ (当団体スタッフ3名)
1月12日 水曜日	メイン活動 ママの簡単ストレッチ (当団体スタッフ3名、ボランティア2名、参加募集者10組母子) 親子の交流タイム (ママさん同士のお話しタイム&浦和区の情報提供) 終了後反省会、当団体のブログ、インスタグラム、公式LINE等で開催報告と次回告知
1月19日 水曜日	2月分イベント打ち合わせ (当団体スタッフ3名)
2月2日 水曜日	メイン活動 ママヨガ (外部講師を招いて) (当団体スタッフ3名、講師1名、ボランティア3名、参加募集者10組母子) 親子の交流タイム (ママさん同士のお話しタイム&浦和区の情報提供) 終了後反省会、当団体のブログ、インスタグラム、公式LINE等で開催報告と次回告知
2月16日 水曜日	3月分イベント打ち合わせ (当団体スタッフ3名)
3月2日 水曜日	メイン活動 親子で絵の具遊び (当団体スタッフ3名、ボランティア4名、参加募集者10組母子) 親子の交流タイム (ママさん同士のお話しタイム&浦和区の情報提供) 終了後反省会
3月	マッチングファンドの報告書の作成と提出

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	ママカフェ*めぐみか
-----	------------

8 事業の実施体制

* 団体において、事業の実施に関わる人はだれですか？この事業における具体的な役割と併せて記入してください。
 ※事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。

氏名	団体における役職等	この事業における役割
川合めぐみ	会長	企画・運営
		企画・イベント進行
		企画・書記・会計

9 他団体との連携状況

*この事業は、他団体と連携(※)していますか？またはその見込みはありますか？
 ※企業、学校、地域の団体（自治会、PTA等）、NPO、ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、その協力関係を記入してください。

このマッチングファンド事業で、同じ課題に取り組むことになる「一般社団法人」Happy-Casket さんと情報交換等をしたいと
 考えます。 /

事業収支計算書 (計画、交付申請、変更、実績)

<収入>

単位:円

区分		算出根拠	金額
収入合計 (A)		(a) + (b)	162,090
自己資金額 (a)		①～⑥の合計 (d) と同額	10,000
団体の自己資金	① 自己資金	自己資金	10,000
	②		
	③		
費用の徴収	④		
	⑤		
	⑥		
助成金交付申請額 (b) (助成金収入・100万円以内)		(c) と同額	152,090

<支出>

区分		算出根拠	金額
支出合計 (総事業費) (B)		(c) + (d)	162,090
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 謝金・報酬	講師謝金 (9月・2月)	20,000
	② 旅費	ボランティアの旅費 (全7回)	9,440
	③ 消耗品費	文具類・紙・マスク・アルコール消毒・ヨ ガマット・その他各イベントで使用する文 具類等 66,350円のうち56,350円	56,350
	④ 印刷製本費	ラクスル2,000部	15,000
	⑤ 保険料	イベント保険料	25,000
	⑥ 使用料	会場使用料 (浦和コミセン・音響装 置・ピアノ) 1,500円×7回 荷物搬入用駐車場使用料2,200円 ×7回	25,900
	⑦ 賃借料	CDレンタル料金	400
	⑧		
	⑨		
	⑩		
助成金充当経費計 (c)		①～⑩の合計 (b) と同額	152,090
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑪ 消耗品費	③助成金限度額を上回る分 66,350円のうち10,000円	10,000
	⑫		
	⑬		
	⑭		
助成 対象 外 経 費	事業に附随して 必要な経費 〔(c)の10%以内〕	⑮	
		⑯	
		⑰	
	その他の経費	⑱	
		⑲	
		⑳	
自己資金充当経費計 (d)		⑪～⑳の合計 (a) と同額	10,000

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。

助成金限度額計算書

単位：円

助成金限度額(Z)		=(e)+(f)	
金額(合計)	算出根拠[自己資金の3倍の金額+労力換算額]		
158,500	30,000	+	128,500

自己資金を3倍にした金額(e)		=(a)×3	
金額(合計)	算出根拠[自己資金の3倍の金額+労力換算額]		
30,000	10,000	×	3 倍

労力換算額(無報酬で事業に参加する市民の労力を金額に換算した金額)(f) =1~10の計			
金額	算出根拠		
128,500	番号	事業の実施時期・内容 算出根拠[人数×時間×500円]	金額
	1	メインスタッフ3名 ・ 5/19 6月分イベント打ち合わせ 3 人 × 2 時間 × 500 円	3,000
	2	メインスタッフ3名 ・ 6/2メイン活動 親子の新聞遊び 反省会 ボランティア3名 6 人 × 5 時間 × 500 円	15,000
	3	メインスタッフ3名 ・ 8/25 9月分イベント打ち合わせ 3 人 × 2 時間 × 500 円	3,000
	4	メインスタッフ3名 ・ 9/8メイン活動 親子のリミック・反省会 ボランティア3名 6 人 × 5 時間 × 500 円	15,000
	5	メインスタッフ3名 ・ 9/22 10月分イベント打ち合わせ 3 人 × 2 時間 × 500 円	3,000
	6	メインスタッフ3名 ・ 10/6メイン活動 親子で運動遊び・反省会 ボランティア3名 6 人 × 5 時間 × 500 円	15,000
	7	メインスタッフ3名 ・ 11/30 12月分イベント打ち合わせ 3 人 × 2 時間 × 500 円	3,000
	8	メインスタッフ3名 ・ 12/1メイン活動 手形アートでクリスマス・反省会 ボランティア3名 6 人 × 5 時間 × 500 円	15,000
	9	メインスタッフ3名 ・ 12/22 1月分イベント打ち合わせ 3 人 × 2 時間 × 500 円	3,000
	10	メインスタッフ3名 ・ 1/12メイン活動 ママの簡単ストレッチ・反省会 ボランティア2名 5 人 × 5 時間 × 500 円	12,500
	11	メインスタッフ3名 ・ 1/19 2月分イベント打ち合わせ 3 人 × 2 時間 × 500 円	3,000
	12	メインスタッフ3名 ・ 2/2メイン活動 ママヨガ・反省会 ボランティア4名 7 人 × 5 時間 × 500 円	17,500
	13	メインスタッフ3名 ・ 2/16 3月分イベント打ち合わせ 3 人 × 2 時間 × 500 円	3,000
14	メインスタッフ3名 ・ 3/2メイン活動 親子で絵の具遊び・反省会 ボランティア4名 7 人 × 5 時間 × 500 円	17,500	

助成金交付申請額(b)	≤	(Z) 助成金限度額
152,090 円	≤	158,500 円

※助成金の限度額は、1,000,000円です。

無報酬で事業に参加する市民の誓約シート

事業の実施時期・ 内容の番号	氏名 注 署名によらない場合は押印してください	住所
1～14 /		
1～14 /		
1～14 /		
2, 4, 6, 8, 10, 12, 14 /		
12.14 /		
2, 4, 6, 8, 12, 14 /		
2, 4, 6, 8, 10, 1 2, 14 /		

* 助成金限度額計算書（別紙2の2）で記入した「事業の実施時期・内容」の番号に合わせて、無報酬で事業に参加する方の氏名・住所を記入してください。

* 実績報告書に添付する際は、氏名欄に参加者の自署または記名押印をしてください。

* 記入欄が不足する場合には、当誓約シート（別紙2の3）を追加してご記入ください。

団体概要

(ふりがな)	ままかふえ めぐみか		
団体名	ママカフェ*めぐみか		
(ふりがな)	かわい めぐみ		
代表者	川合 めぐみ		
連絡責任者	(ふりがな)		
	氏名		
	住所		
	電話/FAX		
	E-mail		
設立年月日	平成 25 年 7 月 16 日		
団体の目的	子育て支援、母子支援、特に母親支援に関する活動（事業）を行うことにより、もって子育て中の母親を地域で孤立させないような支援していくことを目的としている。		
会員数	個人会員	4 名	団体会員 0 団体
さいたま市内における主な活動内容	ちびっこぼけ（親と子の憩いの広場、未就園児クラス）、ベビーぼけ、Saraヨガの開催（託児付きヨガ、ママヨガ）、のんちゃん先生のリトミック教室の開催 パン教室、アロマクラフトづくり体験、小学生母子レジンクラフト体験、ブリザーブド体験など各種子連れ可能な企画の開催		
団体の財政規模	本年度予算（令和2年4月～令和3年3月）		
	<収入の部>		<支出の部>
	会費収入	30 千円	事業費 347 千円
	寄附収入	0 千円	管理運営費 0 千円
	事業収入	278 千円	その他支出 0 千円
	その他収入	92 千円	0
	計	400 千円	計 347 千円
	前年度決算（平成30年4月～令和2年3月）		
	<収入の部>		<支出の部>
	会費収入	9 千円	事業費 324 千円
	寄附収入	0 千円	管理運営費 0 千円
	事業収入	369 千円	その他支出 0 千円
その他収入	36 千円	0	
計	414 千円	計 324 千円	
添付書類	<input type="checkbox"/> *□（四角）に☑（チェック）を入れてください。 <input type="checkbox"/> 定款又は会則等 <input type="checkbox"/> 正会員の名簿ならびに最新の役員名簿 <input type="checkbox"/> 令和2年度の団体の活動予算書 <input type="checkbox"/> 直近1事業年度分の活動計算書（収支計算書） <input type="checkbox"/> 成年被後見人等に該当しないことを確認した旨の書面（任意団体のみ） <input type="checkbox"/> 団体目的等についての確認書（任意団体のみ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		

団体目的等についての確認書

令和3年5月6日

団体名 ママカフェ*めぐみか

代表者職 会長

代表者氏名 川合 めぐみ

当該団体は、下記のいずれの事項にも該当することを確認しました。

記

- 1 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、又は信者を教化育成することを主たる目的とする活動に該当しないこと。
- 2 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的とする活動に該当しないこと。
- 3 特定の公職（公職選挙法（昭和25年法律第100号）第3条に規定する公職をいう。）の候補者（当該候補者になろうとする者を含む。）若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする活動に該当しないこと。
- 4 暴力団でないこと。暴力団又はその構成員若しくは暴力団の構成員でなくなった日から5年を経過しない者の統制の下にある団体でないこと。
- 5 無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律（平成11年法律第147号）第5条及び第8条に規定する処分を受けている団体又はその構成員の統制の下にある団体でないこと。